

第93回 創薬科学セミナー

GTRセミナー

日時: 2019年1月18日(金曜日) 16:00~17:30

場所: 創薬科学研究館 2F 講義室

松下 祥子 博士

藤田医科大学・研究員

イメージング質量分析法の原理と 解析における前処理検討の重要性

イメージング質量分析 (Imaging Mass Spectrometry: IMS) 法は二次元平面上でイオンを生成させ、それらの質量を分析することにより定性・定量・分布を評価する手法であり、工業製品・食品・生体試料などの解析に用いられている。様々な分子種が混在する生体組織を測定する際には、質量分析を行う場合と同様に測定対象分子の検出強度を上昇させる前処理の検討が重要となる。本セミナーではIMSの基礎と応用例を紹介し、前処理の検討結果について報告する。

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります

連絡先: 細胞生化学分野 人見清隆 内線6807



名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University